

なみあい高原ブランドの育成事業  
～なみあいの星空を観光資源として売りだそう～  
(阿智村浪合地区)

1 事例の特徴

環境省で行なっている平成18年度全国星空継続観望会(スターウォッチング)観察結果において、「星空の観測に適していた場所」夏の部門全国1位、冬の部門全国4位になったことから、星空を大切な観光資源として位置づけ、星空観察等に多くの方に来てもらうため、浪合観光協会が主体となって星空への関心を高めるような取り組みをしている。

全国星空継続観望会(スターウォッチング)以外にも星空観察会を実施しており、観察会では、住民ばかりでなく、中京方面からの参加者へ光害についての講座を実施している。

観光資源としてだけでなく、住民の郷土愛の醸成により良好な星空環境が持続するよう、環境保全や光害予防等の公害予防について住民が考えるよう誘導している。

2 取り組み地域の概要

阿智村浪合地区(以後「浪合地区」とする)は、星空観察がしやすい以下の条件がそろった場所である。(浪合地区の概要図について図1参照)

伊那谷の山間部中央に位置し、標高が約1000mと高く比較的星空を見るには環境が整っている。

飯田市市街地から直線距離で約20km、名古屋市から直線距離で70km以上離れており、双方から最も山深い場所にある。

天体観測に適した場所は山の中が多く、冬はアクセスが難しいが、愛知県豊田市から飯田市街へ続く物資輸送の動脈である国道153号線が通っており、容易にアクセスできる場所にあるコンビニエンスストアなど深夜営業の施設がなく、外灯や自動販売機等のみが主な夜間光源となっている。

浪合観光協会で作成した観光パンフレットで星空観察に適した場所を紹介しているが(図1参照)もみじ平キャンプ場、治部坂高原近くのテレビアンテナや電子基準点がある蛇峠山周辺は、適地となっている。

ただし、スキー場の少ない下伊那地域にあって、浪合地区内に2つのスキー場があり、そのうちあらかぎ高原スキー場では営業日を週末等に限ってナイター営業を行っている。



図1 浪合地区の概要図（浪合観光協会作成の観光パンフレットより）

### 3 取り組むようになった経緯

平成2年1月に環境省が実施した全国スターウォッチングで2位に選ばれた。しばらくこの事業に参加していなかったが、平成18年度実施し、全国星空継続観望会(スターウォッチング)観察において、「星空の観測に適していた場所」夏の部門全国1位、冬の部門全国4位になった。

これをきっかけに星空を大切な観光資源として、多くの県外からの参加者も含めて積極的に星空観察を行うとともに光害についての講座もするようになった。

### 4 事業の紹介

#### (1) 星空観察の実施

浪合地区には施設の整った天文施設はないが、上記のように良好な星空環境であることから、一般の天体望遠鏡や双眼鏡を使って、誰でも気軽に参加できる星空観察会を開催している。浪合地区では、全国星空継続観望会(スターウォッチング)観察(年2回)以外にも、国際交流事業の行事の1つとして観察会を実施したり、秋の星空観察イベントなどを実施している。地元には星空観察に詳しい団体等はなかったが、長野県外に在住の方々に構成される、「長野

県天文普及会」が浪合地区で活動していたこともあり、この会が活動の中心となって星空観察を実施するとともに、星空観察のために必要な良好な星空環境を守っていくために光害対策の必要性を星空観察会の中で講習するようになった。

豊明ジュニア天文クラブも参加し、地元の子供たちと交流しながら観察会などを進めている。星空観察会を実施する場合、高価な望遠鏡や双眼鏡が参加者に応じて必要となり、平成19年度までは、長野県天文普及会で準備していたが、平成20年度からは、県の元気づくり支援金を使って初心者でも扱いやすい望遠鏡と双眼鏡を購入した。

観察会への参加通知は、浪合小中学校の児童生徒、浪合保育園園児などへしており、浪合地区の子供達が多く参加している。

山村留学の子供達から親元へ観察会開催が伝えられ、中京圏からの参加者もいる。

昼神温泉の宿泊者を対象として、星空観察を実施している。

< 星空観察会の様子 >



< 星空観察会で行われた光害についての講義の内容 >

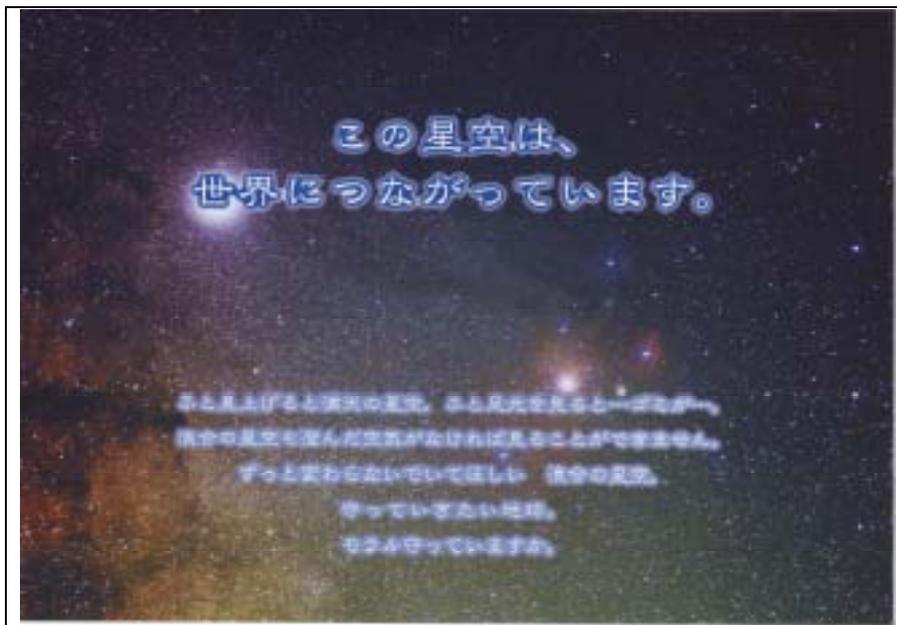


- (2) 保養施設等宿泊施設への天体望遠鏡及び双眼鏡貸し出し  
 浪合地区に宿泊施設した方を対象に望遠鏡、双眼鏡を貸し出している。
- (3) 美しい星空の写真を使った写真集風のパンフレットの作成

天文普及会の会員が撮影した写真を掲載し、短い文書で解説を付けたパンフレットを作製し、星空の美しさをPRしている。

(「南信州阿智村 星月夜の里 なみあい」A5、10ページで約1万部作成)

宿泊施設の情報を入れ、「浪合にお泊まりになって、じっくりと星空観察してみませんか」という文句を入れている。



(4) 天の川の写真をを使った大型タペストリー（壁掛け）の作製

浪合地区の良好な星空環境をPRするため、天文普及会の会員が浪合地区で撮影した写真を縦2m、横1.5mのタペストリーにした。

浪合小中学校、名古屋のホテル、地元の観光・宿泊施設、保養施設などへ展示している。

< 浪合小中学校のタペストリー >



5 事業費等

年 度	費用額	内 容
平成20年度	約1,000千円 県の「地域発 元気づくり支援金」を活用	・望遠鏡、双眼鏡の購入 ・パンフレットの作製(1万部) ・タペストリーの作製(15枚) ・観察会の開催

6 工夫した点等

魅力的な星空環境をPRするため、浪合地区のきれいな星空の写真をふんだんに使ったパンフレットやタペストリーを作製した。

良好な星空環境を浪合地区の魅力と感じ、子供達に地元に興味を持ってもらうため、星空観察会へ園児、児童、生徒の参加を呼びかけていること。

「星」「宿泊施設」「環境」の3つのトライアングル

7 成果

光害防止の必要性について地元の子供達やその家族へ徐々に広まっている。

光害防止の必要性について中京圏からの参加者へも普及しつつある。

豊明市ジュニア天文倶楽部の合宿や観光客が星空観察できる機会を作ることにより、星空がきれいに見える環境の大切さの普及啓発につながっている。

8 課題・今後の活動で考慮すべき事項等

光害対策の必要性についての啓発は進んでいるが、浪合地区内の外灯等への対策にかかる費用が不足しているため、実施が進んでいない状況。

9 問い合わせ先 阿智村役場 電話0265-43-2220